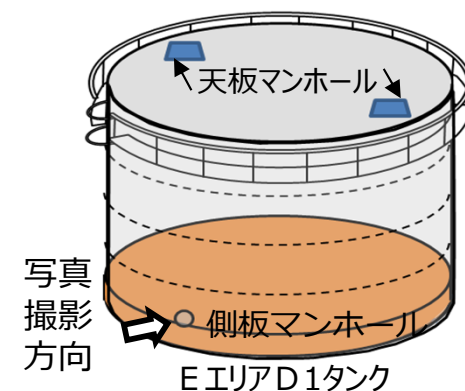
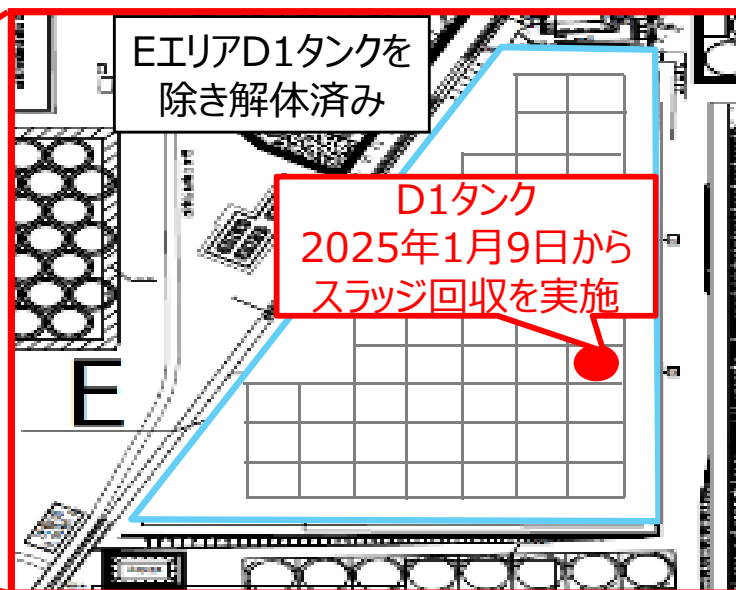
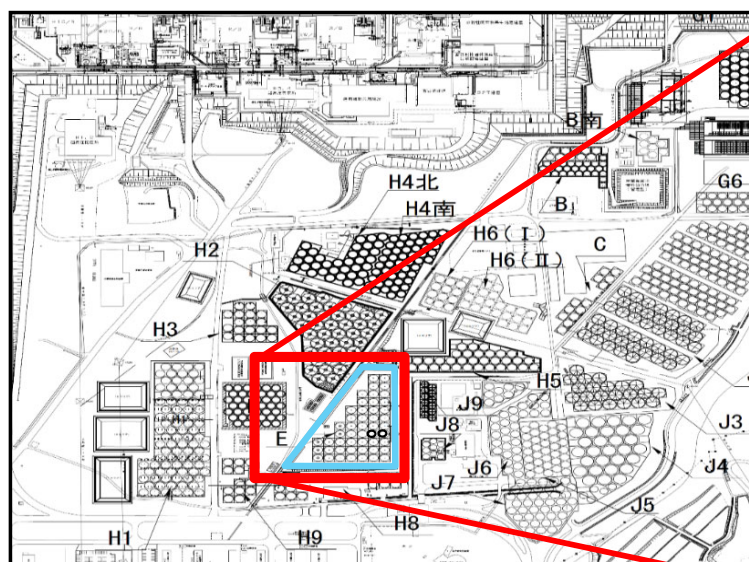


- Eエリアではフランジ型タンクの解体を進めており、2024年7月までに、全49基中48基の解体が完了しています（D1タンクのみ未解体）。
- D1タンク内のスラッジは、フィルタユニットにより回収していましたが、回収効率が低いことから、2023年11月、タンク内を側板マンホールから確認したところ、内部に粘性の高いスラッジの堆積を確認しました（右下写真参照）。スラッジの回収方法を見直し、吸引ポンプ等を用いて一時的に仮保管容器に移送する計画です。
- 2024年5月～11月、モックアップを実施し、準備が整ったことから、2025年1月9日から、D1タンク内のスラッジ回収を行っています。
<2025年1月9日までにお知らせ済み>

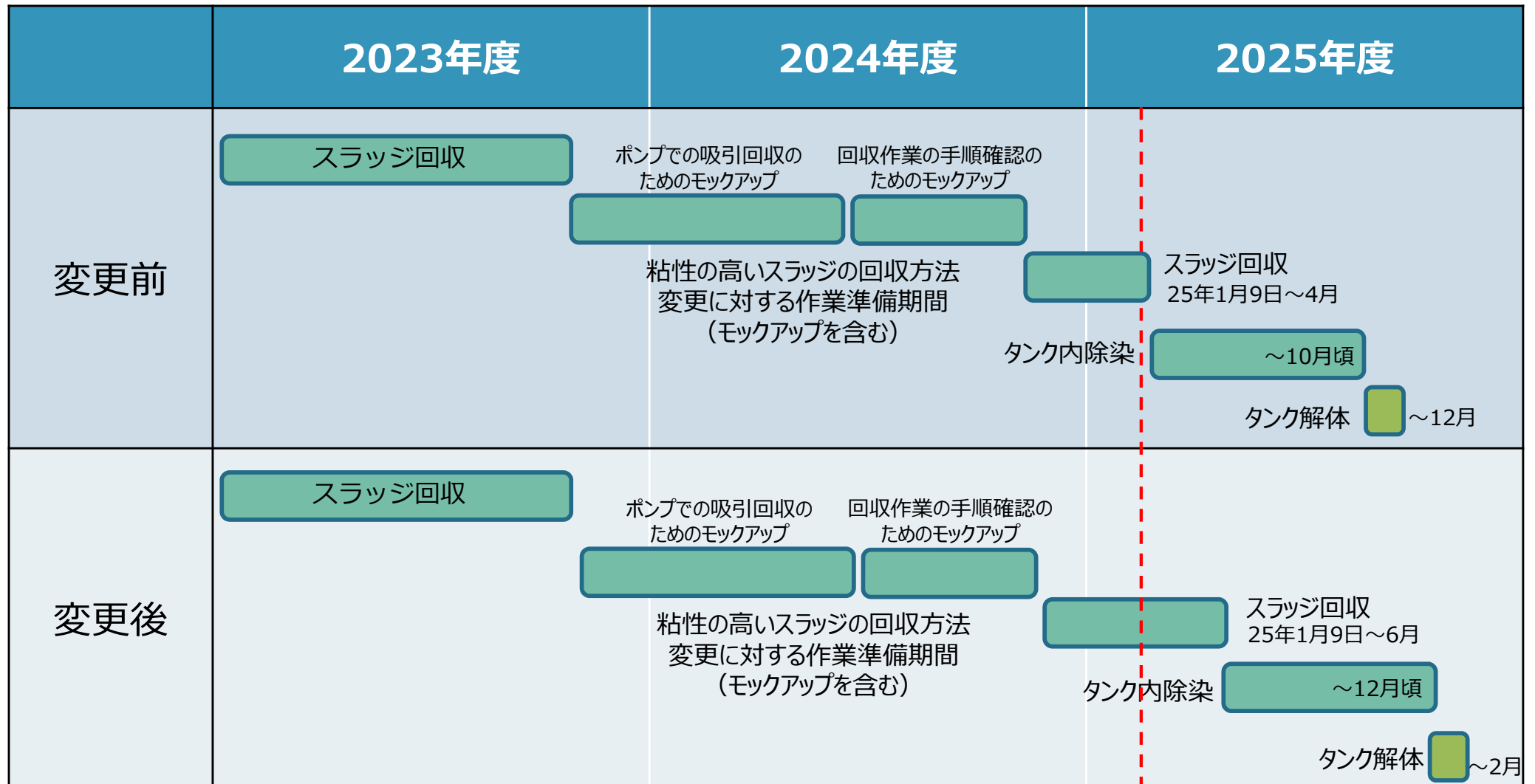
- 2025年1月のスラッジ回収開始以降、放射性物質の拡散防止対策、身体汚染防止対策を強化し、慎重に回収を進めています。
- モックアップにおいて、スラッジの粘性が高く、流動しにくい状態である場合を想定した訓練を実施していましたが、スラッジの回収が進むにつれ、より広範囲のスラッジが流動しにくい状態であることを確認しました。
- これまで、スラッジ回収完了時期について、2025年4月とお知らせしておりましたが、スラッジを流動しやすい状態にして回収する作業に時間を要していることから、スラッジ回収完了時期を、2025年6月へ変更いたします。
- その後、タンク内を除染し解体する計画ですが、スラッジ回収時期の変更に伴い、タンク解体完了時期も、2025年12月から2026年2月へ変更いたします。
- 引き続き、慎重かつ安全最優先で作業を進めてまいります。



側板マンホールから内部撮影

EエリアD1タンク解体工程

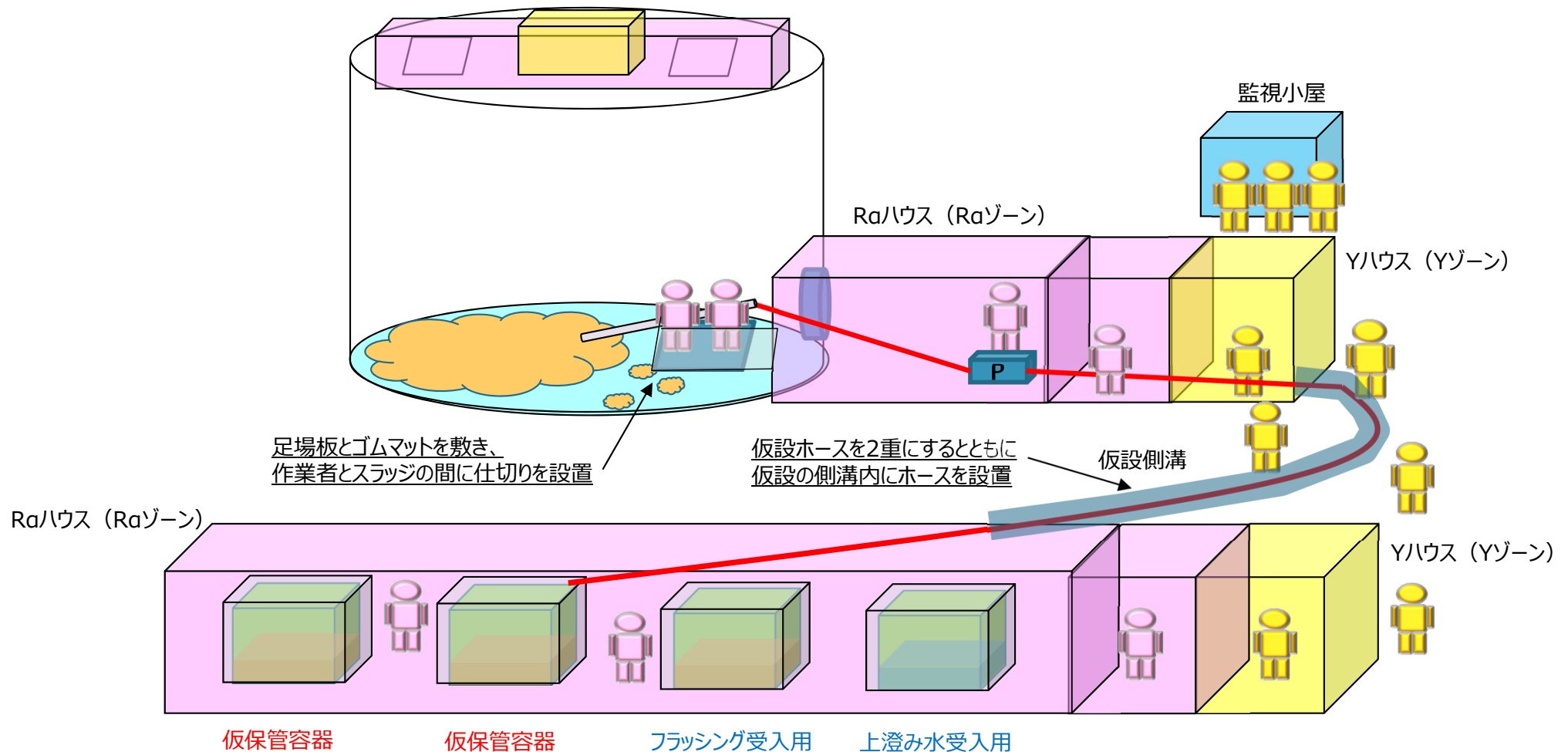
- これまでの作業実績を踏まえ、工程を再精査し、スラッジ回収完了時期を2025年4月から2025年6月へ変更いたします。
- スラッジ回収完了時期の変更に伴い、タンク解体完了時期も2025年12月から2026年2月へ変更いたします。



現在

[参考] スラッジ回収時の安全対策

- タンクから仮保管容器へスラッジを移送する際は、仮設ホースを2重にするとともに、仮設の側溝内にホースを設置し、漏えいを防止。
- タンク内に入って回収を行う場合は、足場板とゴムマットを敷き、その上で作業を実施し、転倒防止および被ばくを低減。また、作業者とスラッジの間に仕切り等を設置し、スラッジが直接作業員に付着することを抑制。
- スラッジ回収作業について万全を期すため、作業訓練を構外で実施済み。訓練実施者のみ作業に従事。



タンク内におけるスラッジ回収